



2026年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月14日

上場会社名 株式会社Gunosy 上場取引所 東
 コード番号 6047 URL <https://gunosy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 健太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 岩瀬 辰幸 (TEL) (03)5953-8030
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期第3四半期の連結業績（2025年6月1日～2026年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期第3四半期	4,986	7.7	237	△60.0	350	△10.6	204	0.2
2025年5月期第3四半期	4,630	△18.0	593	—	391	—	204	—

(注) 包括利益 2026年5月期第3四半期 263百万円 (—%) 2025年5月期第3四半期 △226百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期第3四半期	8.54	—
2025年5月期第3四半期	8.50	8.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年5月期第3四半期	12,618	11,046	86.7
2025年5月期	13,222	11,283	84.4

(参考) 自己資本 2026年5月期第3四半期 10,942百万円 2025年5月期 11,161百万円

(注) 中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年5月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年5月期	—	0.00	—	18.30	18.30
2026年5月期	—	0.00	—		
2026年5月期（予想）				22.00	22.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2026年5月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 18円30銭 特別配当 3円70銭

3. 2026年5月期の連結業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,450	5.8	250	△56.6	360	10.6	134	69.6	5.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年5月期3Q	24,237,774株	2025年5月期	24,237,774株
② 期末自己株式数	2026年5月期3Q	288,148株	2025年5月期	212,920株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年5月期3Q	23,943,730株	2025年5月期3Q	23,998,346株

(注) 自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式 (2025年5月期 : 73,667株、2026年5月期3Q : 54,392株) を含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(企業結合等関係)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループをとりまく経営環境につきましては、国内経済は、米国の通商政策の影響が残るものの、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復が続いております。一方で、物価動向や海外経済の動向等の影響もあり、先行きは依然として不透明な状況にあります。

広告市場については、インターネット分野を中心に拡大が続いており、とりわけ動画広告やソーシャルメディア広告などの需要が伸長しております。

ゲーム市場については、国内・海外ともに一定の市場規模を維持しつつ推移しているものの、利用者の嗜好や余暇の使い方の多様化に加え、プラットフォームやタイトル間での競争環境の変化が進んでおります。

2026年5月期より、これまでの事業ドメインを基軸としたポートフォリオ区分を見直し、キャッシュ創出力と成長性を軸とした新たなセグメント区分へと変更しております。当期における各セグメントの取組み状況は以下のとおりです。

メディア事業：当社が運営する「グノシー」、「ニュースライト」及び「auサービスToday」、並びに株式会社ゲームエイト（以下、ゲームエイト）が運営する国内外のメディア等、当社グループの基盤として安定的にキャッシュを創出する事業群で構成されます。

当第3四半期連結会計期間における事業進捗は、ゲーム攻略メディアにつきましては、海外事業が好調に推移し概ね想定どおりの進捗となっております。一方で、「グノシー」を始めとする当社が運営するニュースキュレーションメディアについては、第2四半期に続きユーザーの興味関心を惹きつける話題性の高いニュースが少なかった影響によりDAUは想定を下回る推移となりました。

引き続き広告宣伝費の削減などを含めたコスト削減を進め、安定したフリーキャッシュフローを創出できるよう目指してまいります。

Gホールディングス事業：株式会社Gホールディングスが運営する、アニメ・漫画など既存のIPを活用したソーシャルゲームのパブリッシング等により、IPの価値を最大化する事業で構成されます。

Gホールディングス事業においては、既存タイトルについて、安定した運営を継続するとともに、新規タイトルのリリースを行いました。また、来期以降のリリースも含めた今後予定している複数の新規タイトルに向けた準備を進めております。

引き続きPMI（ポスト・マージャー・インテグレーション）を推進し、各タイトルの収益性を厳格に管理することで、のれん償却を含めた営業利益においてグループ業績への貢献を目指してまいります。

新規事業：ゲームエイトのStore and Commerce事業（以下、SC事業）や、当社が運営する「IR Hub」等を含み、中長期的に大きな成長が見込まれる事業群で構成されます。

SC事業において2025年12月18日のスマホソフトウェア競争促進法の全面施行を踏まえ、引き続きタイトル獲得の拡大に取り組んでおります。IR Hubにつきましては、英文開示対応に対する需要を取り込むべく営業体制を強化するとともに、英訳精度の向上や機能改善を通じて利便性の向上に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高4,986百万円（前年同四半期比7.7%増）、経常利益350百万円（前年同四半期比10.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益204百万円（前年同四半期比0.2%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①メディア事業

メディア事業の売上高は4,211百万円（前年同四半期比8.7%減）、セグメント利益は926百万円（前年同四半期比20.0%減）となりました。一方で連結子会社ゲームエイトが運営するゲーム攻略メディアについては、大型タイトルのリリースはなかったものの、海外事業のPV数が想定を大幅に上回り推移した結果、売上高は引き続き前年同四半期比で成長いたしました。

②Gホールディングス事業

Gホールディングス事業の売上高は761百万円、セグメント損失は99百万円となりました。当第3四半期連結会計期間においては既存タイトルのユーザー満足度の向上を目指した運営を継続するとともに、サブライセンス型で新作を1タイトルリリースいたしました。また、今後予定している人気IPを活用した複数のタイトル展開に向けた準備に注力いたしました。

③新規事業

新規事業の売上高は15百万円（前年同四半期比10.7%減）、セグメント損失は160百万円（前年同四半期はセグメント損失163百万円）となりました。

なお、当社の戦略投資先であるslice Small Finance Bank Ltd. については、預金額は年次約2.3倍ペースで成長し、AUMについてもクレジットカードパブリックリリース後は安定した成長が継続しており、合併以降も高い成長性を維持しております。当社としては引き続きアセットマネジメントに注力してまいります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて603百万円減少し、12,618百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比246百万円の減少）、売掛金の減少（前連結会計年度末比185百万円の減少）、流動資産のその他の減少（前連結会計年度末比225百万円の減少）であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて366百万円減少し、1,572百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少（前連結会計年度末比225百万円の減少）であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて237百万円減少し、11,046百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少（前連結会計年度末比245百万円の減少）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年1月13日に公表いたしました2026年5月期の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,369	5,122
売掛金	926	741
その他	942	717
流動資産合計	7,238	6,580
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7	15
その他（純額）	6	6
有形固定資産合計	13	22
無形固定資産		
のれん	679	607
その他	104	133
無形固定資産合計	783	740
投資その他の資産		
投資有価証券	5,049	5,061
繰延税金資産	74	127
その他	62	86
投資その他の資産合計	5,186	5,274
固定資産合計	5,984	6,037
資産合計	13,222	12,618

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	337	239
未払金	307	281
未払法人税等	85	94
1年内返済予定の長期借入金	41	—
前受金	612	585
株式給付引当金	16	1
賞与引当金	—	19
その他	172	147
流動負債合計	1,573	1,369
固定負債		
長期借入金	225	—
株式給付引当金	1	4
繰延税金負債	137	197
その他	—	0
固定負債合計	364	202
負債合計	1,938	1,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,099	4,099
資本剰余金	4,099	4,099
利益剰余金	2,919	2,673
自己株式	△220	△265
株主資本合計	10,896	10,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	305	342
繰延ヘッジ損益	△40	△7
その他の包括利益累計額合計	265	335
新株予約権	66	60
非支配株主持分	55	43
純資産合計	11,283	11,046
負債純資産合計	13,222	12,618

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
売上高	4,630	4,986
売上原価	2,414	2,650
売上総利益	2,216	2,336
販売費及び一般管理費	1,623	2,099
営業利益	593	237
営業外収益		
受取利息	51	64
為替差益	26	58
その他	1	16
営業外収益合計	79	139
営業外費用		
支払利息	—	1
支払手数料	4	5
投資事業組合運用損	15	19
持分法による投資損失	261	—
その他	0	—
営業外費用合計	281	26
経常利益	391	350
特別利益		
投資有価証券売却益	87	46
新株予約権戻入益	14	12
特別利益合計	101	59
特別損失		
投資有価証券評価損	106	—
特別損失合計	106	—
税金等調整前四半期純利益	387	409
法人税、住民税及び事業税	189	218
法人税等調整額	△6	△2
法人税等合計	182	216
四半期純利益	204	193
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△11
親会社株主に帰属する四半期純利益	204	204

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
四半期純利益	204	193
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	305	37
繰延ヘッジ損益	△75	32
為替換算調整勘定	△835	—
持分法適用会社に対する持分相当額	175	—
その他の包括利益合計	△430	69
四半期包括利益	△226	263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△226	274
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2024年6月1日至2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	メディア事業	Gホールディング ガス事業	新規事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	4,613	—	17	4,630	0	4,630
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,613	—	17	4,630	0	4,630
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,613	—	17	4,630	0	4,630
セグメント利益又は損失(△)	1,158	—	△163	995	△402	593

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△402百万円は、主に各報告セグメントに配賦されていない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2025年6月1日至2026年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	メディア事業	Gホールディング ガス事業	新規事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	4,211	761	14	4,986	0	4,986
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,211	761	14	4,986	0	4,986
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	1	1	△1	—
計	4,211	761	15	4,988	△1	4,986
セグメント利益又は損失(△)	926	△99	△160	666	△429	237

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△429百万円は、主に各報告セグメントに配賦されていない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、当社グループの報告セグメントは「メディア事業」のみであり、その他の事業セグメントは重要性が乏しかったことから、セグメント情報の記載を省略しておりました。

しかしながら、前連結会計年度において既存事業が安定的に黒字化を達成したこと、及びM&Aの進展があったことを踏まえ、第1四半期連結会計期間より、事業活動の実態をよりの確に反映させることを目的として、キャッシュ創出力及び成長性を基準としたセグメント区分へ変更することといたしました。

具体的には、報告セグメントを以下の3つに区分いたします。

- ①「メディア事業」：当社が運営する「グノシー」及び「auサービスToday」、並びにゲームエイトが運営する国内外のメディア等、当社グループの基盤として安定的にキャッシュを創出する事業群で構成されます。
- ②「Gホールディングス事業」：株式会社Gホールディングスが運営する、アニメ・漫画など既存のIPを活用したソーシャルゲームのパブリッシング等により、IPの価値を最大化する事業で構成されます。
- ③「新規事業」：ゲームエイトのSC事業や、当社が運営する「IR Hub」等を含み、中長期的に大きな成長が見込まれる事業群で構成されます。

なお、当社は上記各事業とは別に、slice Small Finance Bank Ltd.を筆頭とした投資活動も行っております。これらの投資活動は、当社の中長期における高成長オプションとして、将来的に経営成績に重要な影響を与える可能性がございますが、現時点においては収益計上が非継続的であり、会計基準に定められる独立した事業セグメントの要件を満たさないため、報告セグメントとしては認識しておらず、当該投資活動に係る資産及び損益については、調整額として表示いたします。

これに伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分決定及び業績評価をするために、定期的に検討を行う事業セグメントを基礎としております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「Gホールディングス事業」セグメントにおいて、2025年5月23日に行われた株式会社Gホールディングスとの企業結合について、前連結会計年度に暫定的な会計処理を行っておりましたが、中間連結会計期間に確定しております。詳細につきましては、「注記事項（企業結合等関係）」の「（企業結合に係る暫定的な会計処理の確定）」をご参照ください。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
減価償却費	2百万円	37百万円
のれんの償却額	－百万円	72百万円

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2025年5月23日に行われた当社の連結子会社である株式会社Gホールディングスとの企業結合について、前連結会計年度に暫定的な会計処理を行っていましたが、中間連結会計期間に確定しております。また、株式取得後における価格調整が完了し、中間連結会計期間において取得原価が確定しております。

これらの確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において、取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれん720百万円は、会計処理の確定により40百万円減少し、679百万円となりました。のれんの減少は、取得原価の調整等による減少3百万円のほか、無形固定資産のその他が57百万円および繰延税金負債が19百万円それぞれ増加したことによるものです。また、前連結会計年度の連結貸借対照表において、流動資産のその他が3百万円、無形固定資産のその他が57百万円増加し、のれんが40百万円、繰延税金資産が19百万円減少しております。

なお、のれんの償却期間は7年、無形固定資産のその他の償却期間は3年であります。